

羽曳野市転入・転出者アンケート調査結果

令和4年12月

羽曳野市

目次

1 調査の概要

1-1	調査目的	1
1-2	調査対象者	1
1-3	調査方法	1
1-4	調査期間	1
1-5	回収結果	1
1-6	報告書の見方	1

2 転入者アンケート調査の結果

2-1	回答者の属性について	2
2-2	回答者の居住の状況について	5
2-3	回答者の転入の理由等について	7
2-4	回答者の住み心地等について	9

3 転出者アンケート調査の結果

3-1	回答者の属性について	13
3-2	回答者の居住の状況について	16
3-3	回答者の転出の理由等について	18
3-4	回答者の住み心地等について	20

1 調査の概要

1-1 調査目的

第2期総合戦略の策定にあたり、広く市民の意見を伺い、計画に反映していくことを目的に転入・転出者アンケート調査を実施しました。

1-2 調査対象者

①転入者：令和元年7月31日から基準日までにおいて転入された人のうち、基準日時点で18歳～65歳の900人

②転出者：令和元年7月31日から基準日までにおいて転出された人のうち、基準日時点で18歳～65歳の1,200人

*基準日 令和4年7月31日

1-3 調査方法

配布方法：郵送

回答方法：インターネット または 郵送

1-4 調査期間

令和4年9月1日～9月23日

1-5 回収結果

	配布数	回収数	回収率
転入者アンケート	900件	263件	29.2%
転出者アンケート	1,200件	265件	22.1%

1-6 報告書の見方

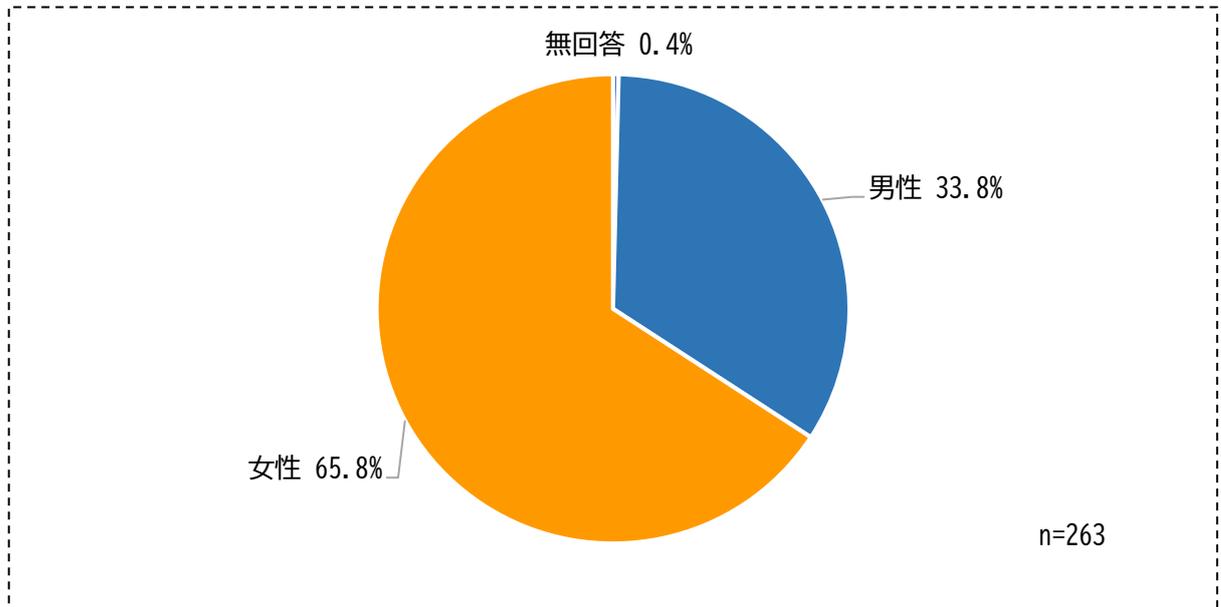
- ・グラフ等に表示されているn値は有効回答数です。
- ・集計結果の%表示は、少数第2位を四捨五入しています。そのため、合計が100%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、内訳が100%にならない場合があります。
- ・設問ごとの集計は、無回答、無効回答を排除しているため、有効回答数の合計が、全体の有効回答数と合致しない場合があります。

2 転入者アンケート調査の結果

2-1 回答者の属性について

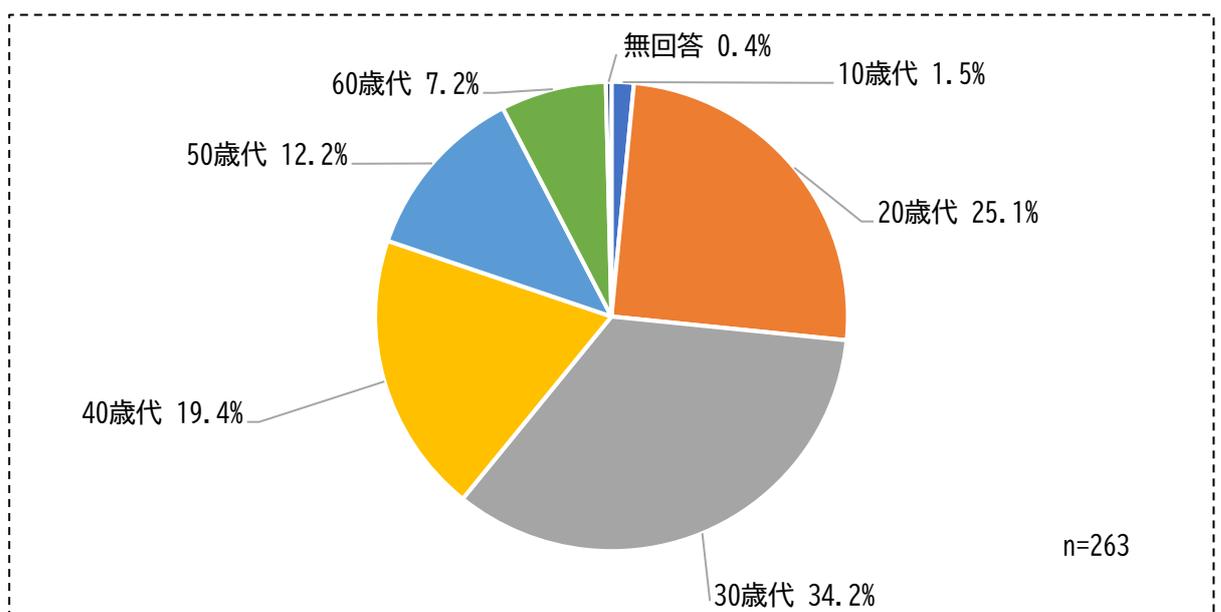
問1 あなたの性別を教えてください。(1つに○)

女性が6割以上となっています。



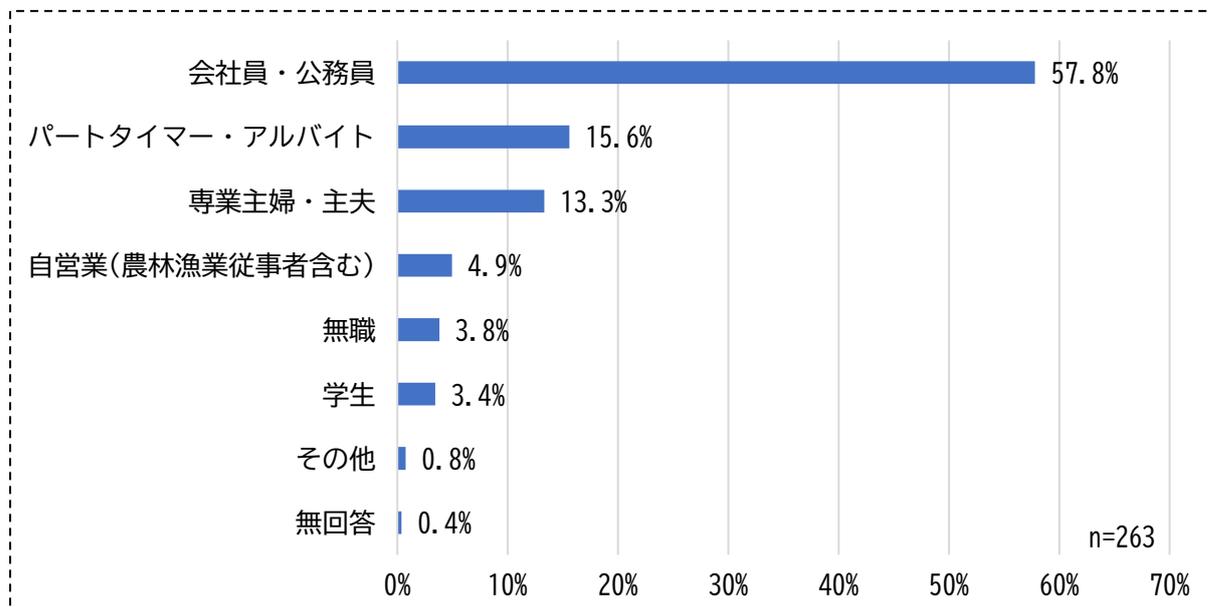
問2 あなたの年齢を教えてください。(1つに○)

「30歳代」(34.2%)が最も多く、次いで「20歳代」(25.1%)、「40歳代」(19.4%)と若い世代の回答が得られています。



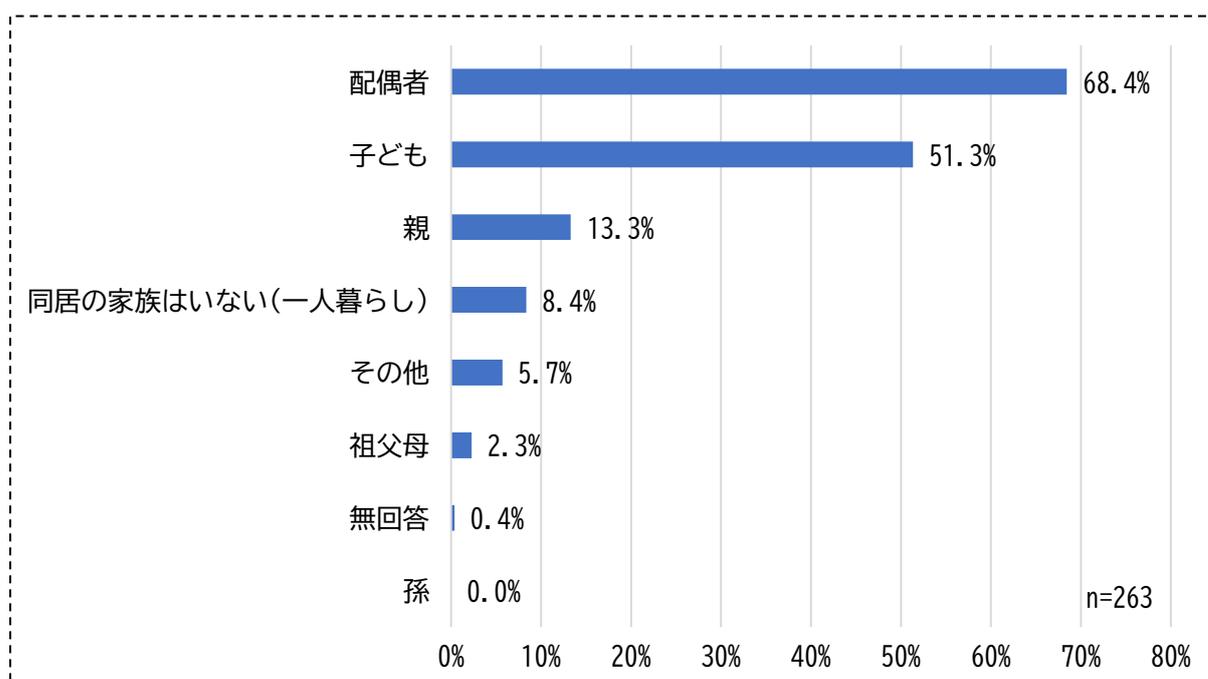
問3 あなたの職業を教えてください。(1つに○)

「会社員・公務員」(57.8%)が6割近くで多数を占め、次いで「パートタイマー・アルバイト」(15.6%)、「専業主婦・主夫」(13.3%)が多くなっています。



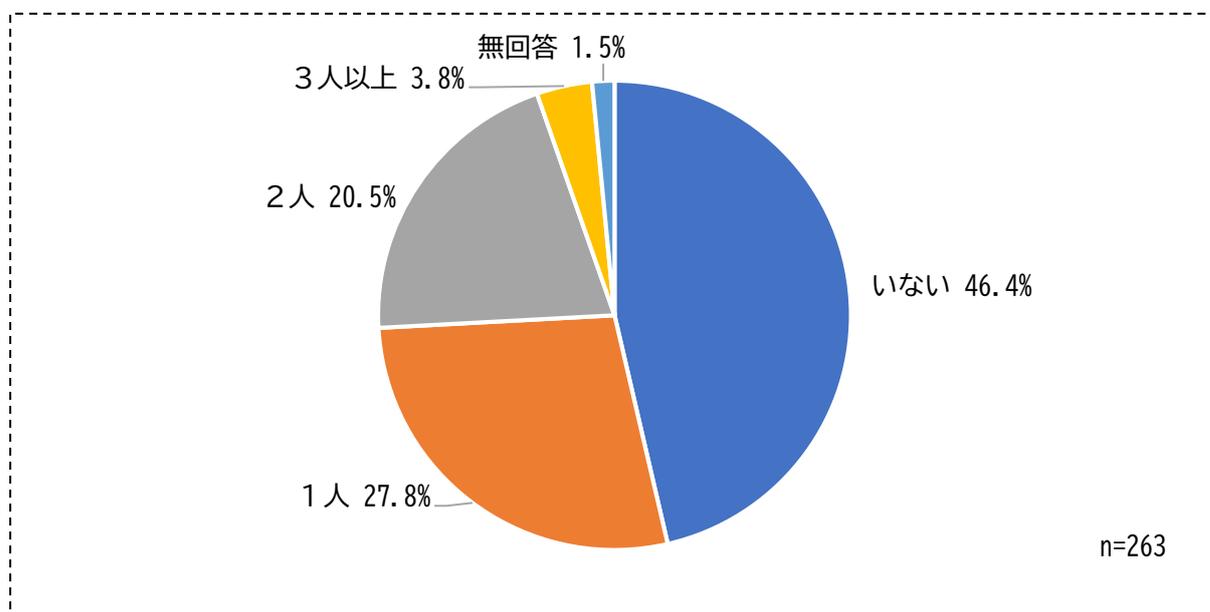
問4 あなたと同居している家族の方を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

「配偶者」(68.4%)、「子ども」(51.3%)が多く、次いで「親」(13.3%)となっており、「同居の家族はいない(一人暮らし)」(8.4%)は少なくなっています。



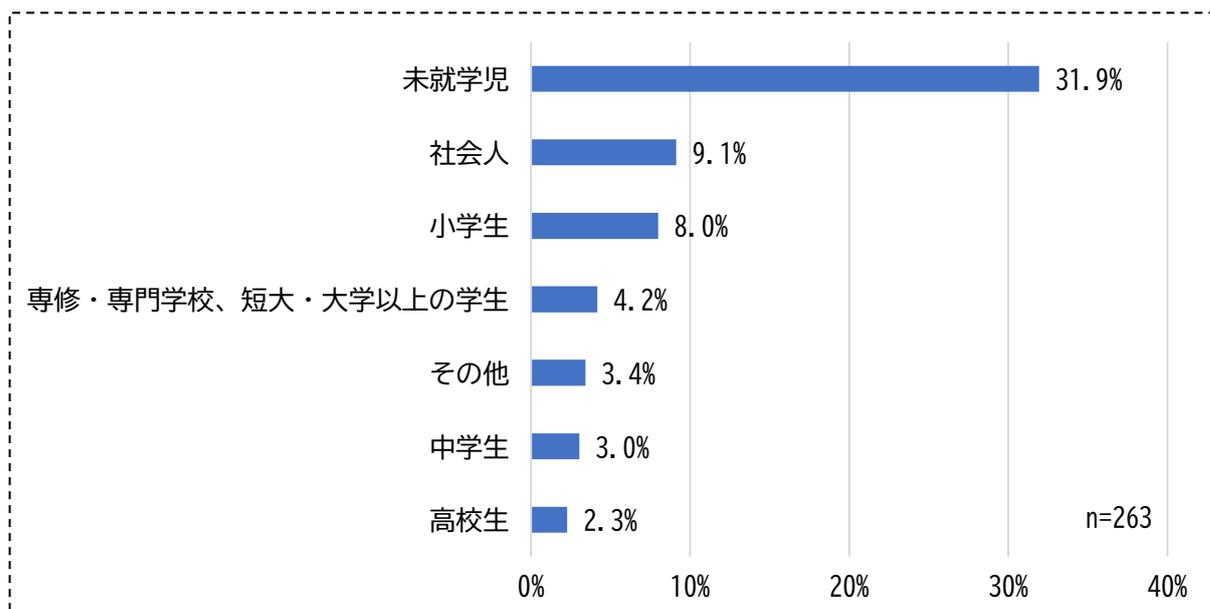
問5 あなたと同居しているお子さんの人数を教えてください。(1つに○)

「いない」(46.4%)が半数近くで最も多く、「1人」(27.8%)、「2人」(20.5%)となっており、「3人以上」(3.8%)は少なくなっています。



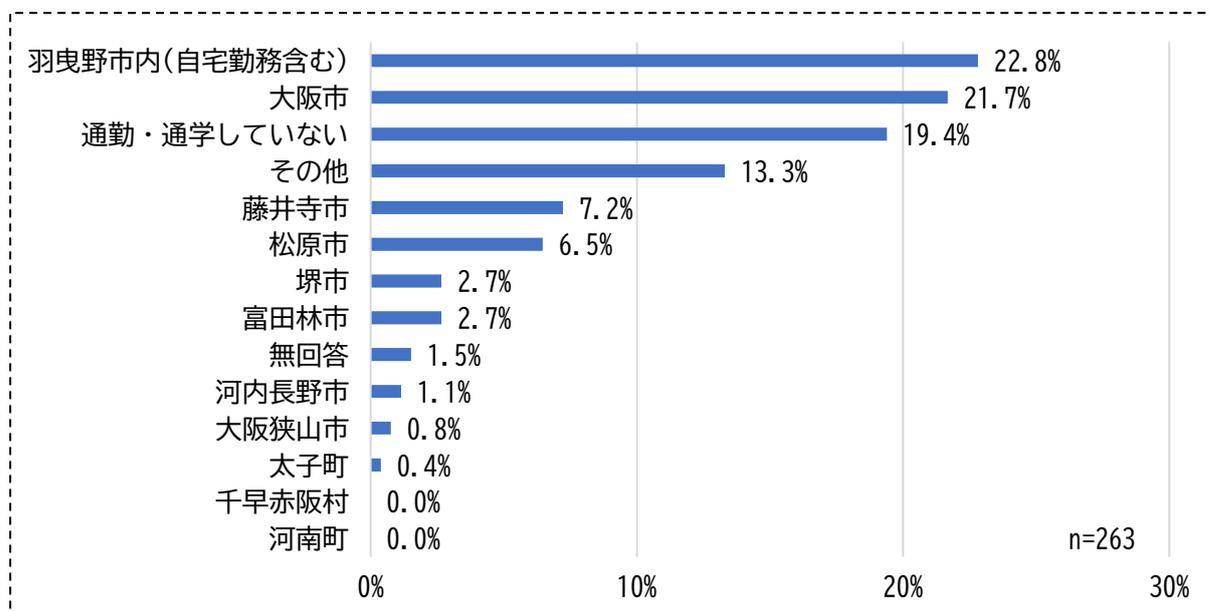
問6 あなたと同居しているお子さんに次の方はいますか。(あてはまるものすべてに○)

「未就学児」(31.9%)が3割以上で最も多く、次いで「社会人」(9.1%)、「小学生」(8.0%)となっています。



問7 あなたの通勤・通学先を教えてください。(1つに○)

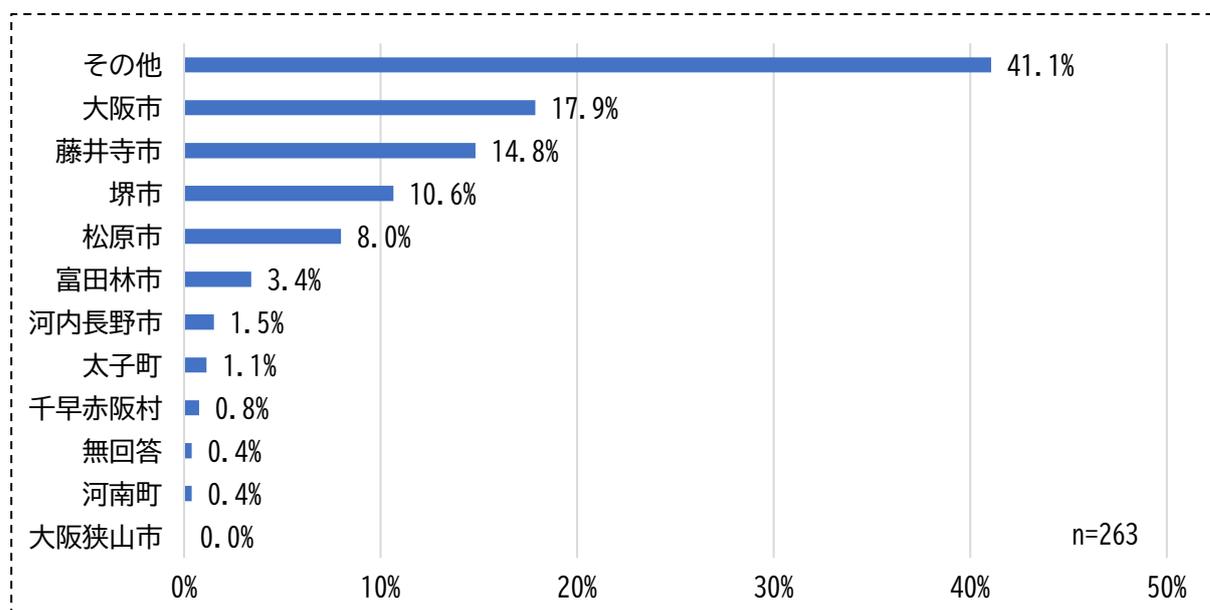
「羽曳野市内(自宅勤務含む)」(22.8%)が最も多く、次いで「大阪市」(21.7%)、「通勤・通学していない」(19.4%)となっています。隣接市では「藤井寺市」(7.2%)、「松原市」(6.5%)が多くなっています。



2-2 回答者の居住の状況について

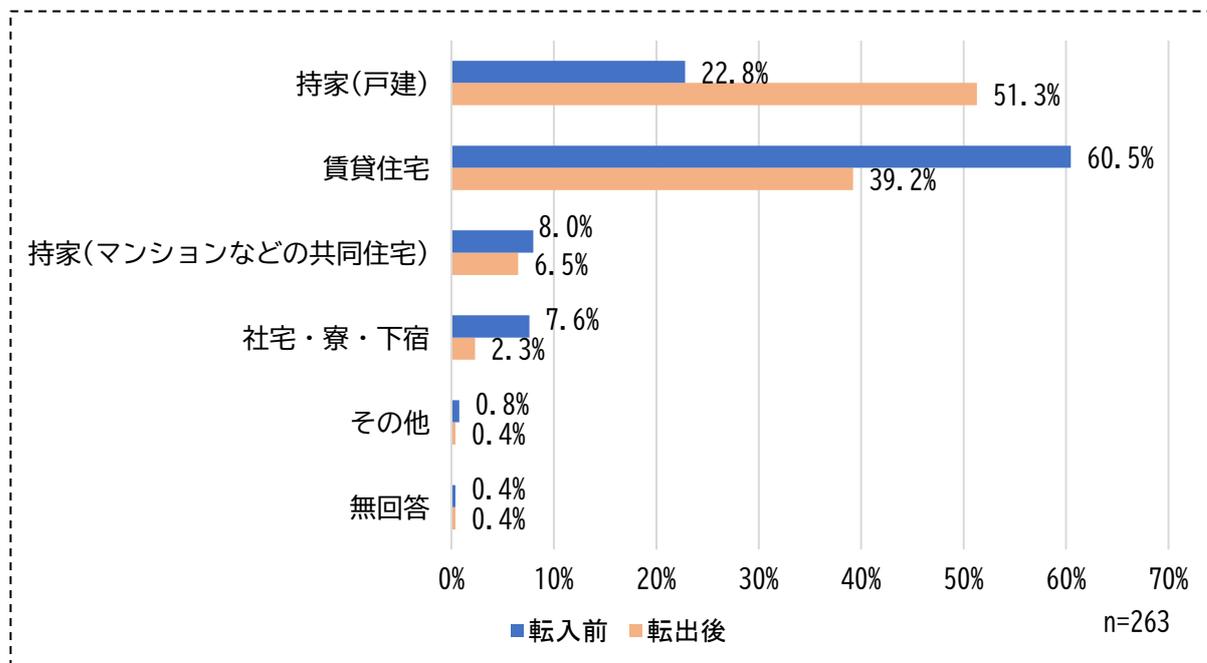
問8 あなたが羽曳野市に引越す前に住んでいた市町村を教えてください。(1つに○)

「大阪市」(17.9%)、「藤井寺市」(14.8%)、「堺市」(10.6%)が多く、「その他」が4割以上となっています。

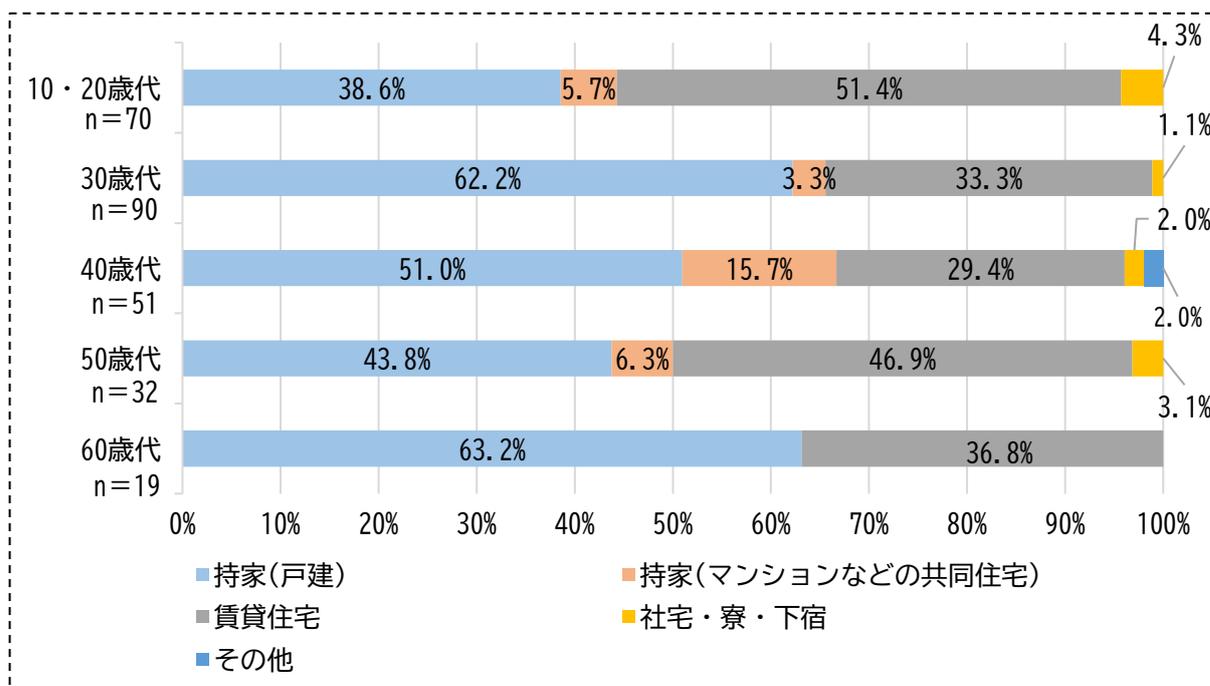


問9 引越す前(転入前)と引越した後(羽曳野市)の住宅を教えてください。なお、「持家」には家族が所有するものを含みます。(それぞれ1つに〇)

転入後では「持家(戸建)」(51.3%)が多くなっています。転入前では22.8%となっていることから、転入後に持家(戸建)を得ている人が多いことが分かります。



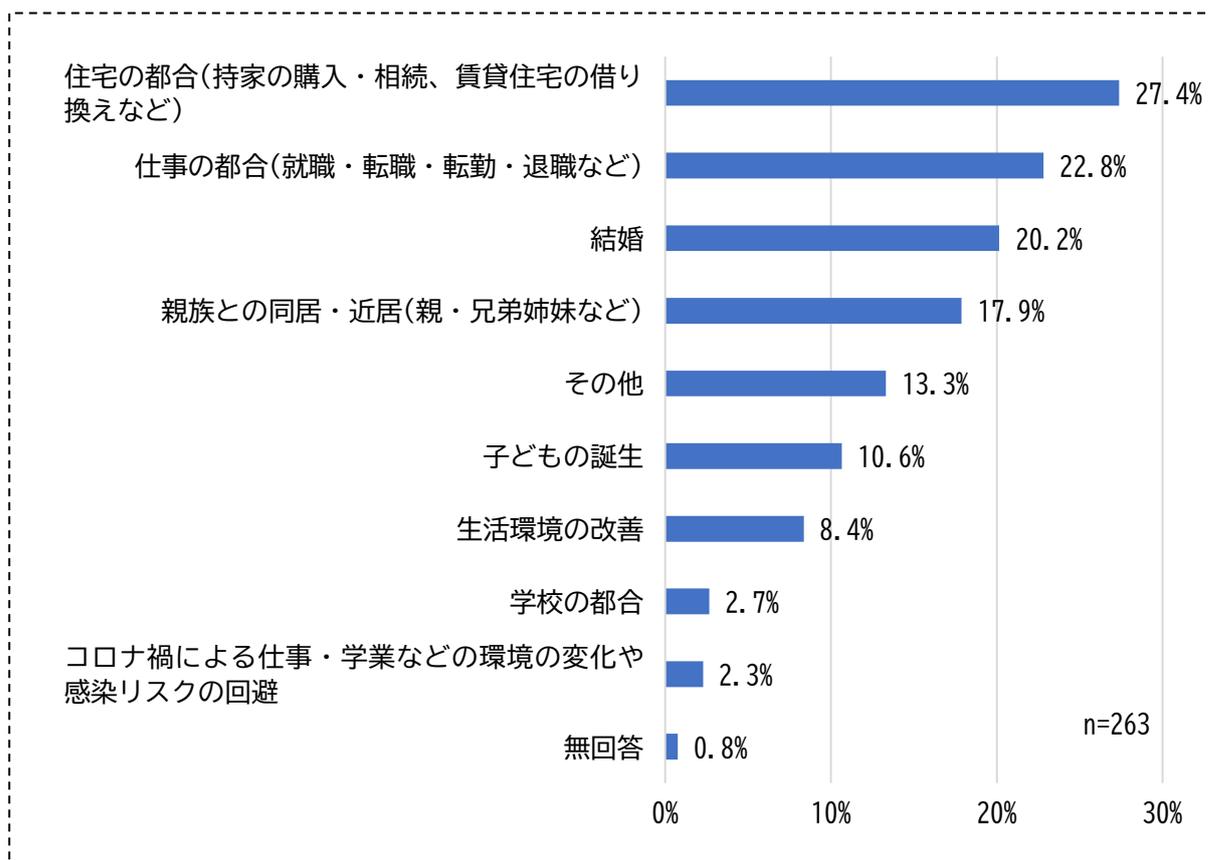
年代別で見ると、転入後の住宅では、「30歳代」(62.2%)、「40歳代」(51.0%)、「60歳代」(63.2%)で「持家(戸建)」の比率が大きくなっています。



2-3 回答者の転入の理由等について

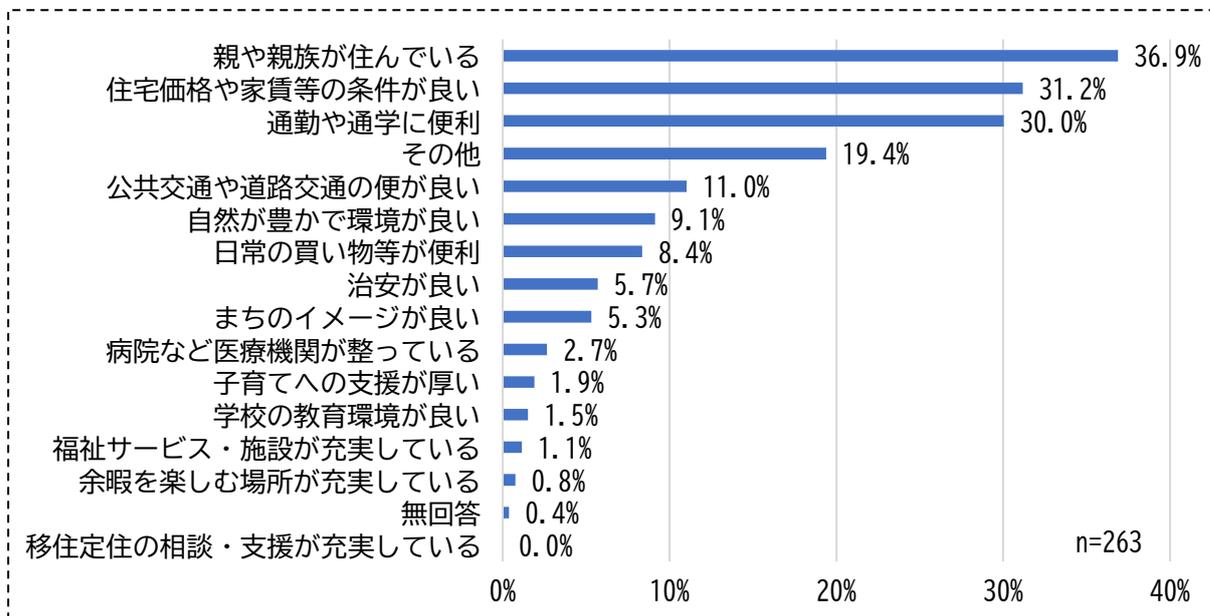
問10 あなたが羽曳野市に引越すこととなったきっかけを教えてください。
(あてはまるものすべてに○)

「住宅の都合(持家の購入・相続、賃貸住宅の借り換えなど)」(27.4%)が最も多く、次いで「仕事の都合(就職・転職・転勤・退職など)」(22.8%)、「結婚」(20.2%)、「親族との同居・近居(親・兄弟姉妹など)」(17.9%)が多くなっています。



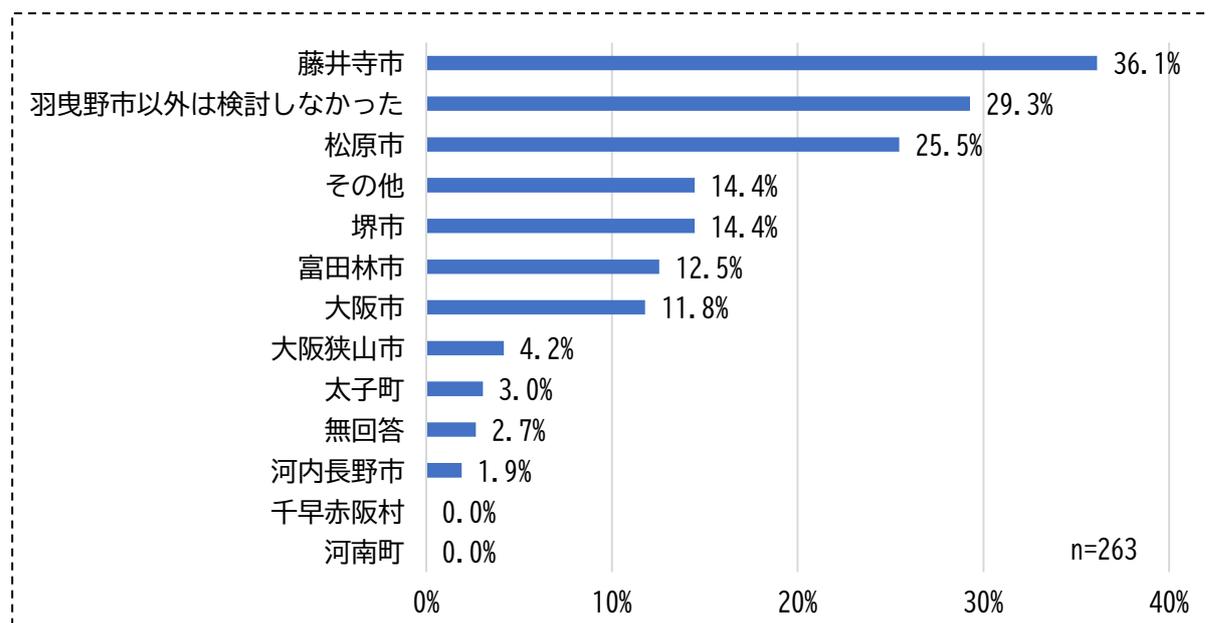
問 11 あなたが羽曳野市に住むことを決めた主な理由を教えてください。(3つまでに○)

「親や親族が住んでいる」(36.9%)、「住宅価格や家賃等の条件が良い」(31.2%)、「通勤や通学に便利」(30.0%)が多くなっています。



問 12 あなたが羽曳野市以外で引越し先として検討した市町村を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

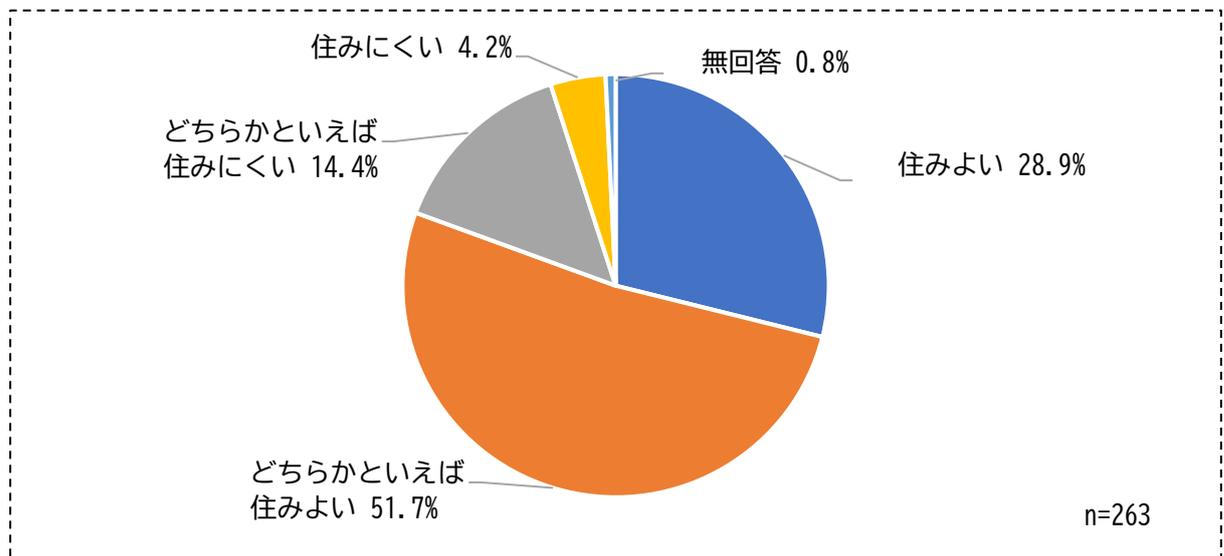
「藤井寺市」(36.1%)が最も多く、次いで「松原市」(25.5%)、「堺市」(14.4%)、「富田林市」(12.5%)、「大阪市」(11.8%)が多くなっていますが、「羽曳野市市外は検討しなかった」(29.3%)も多くなっています。



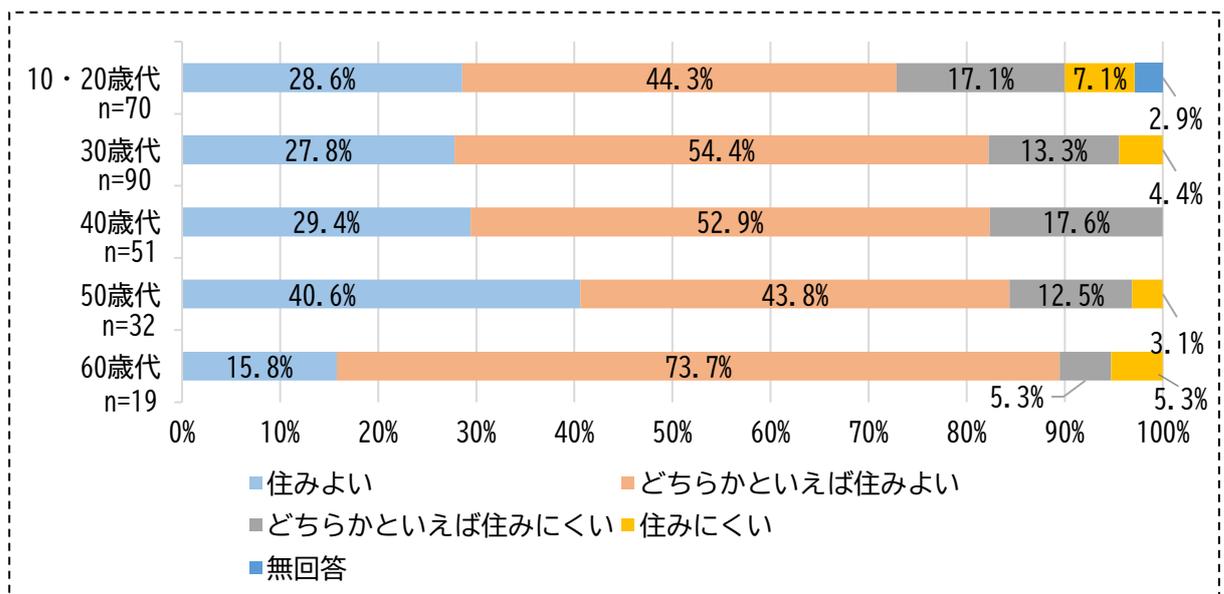
2-4 回答者の住み心地等について

問 13 あなたは羽曳野市の住み心地をどう感じていますか。(1つに○)

「住みよい」(28.9%)、「どちらかといえば住みよい」(51.7%)を合わせると8割以上となっています。



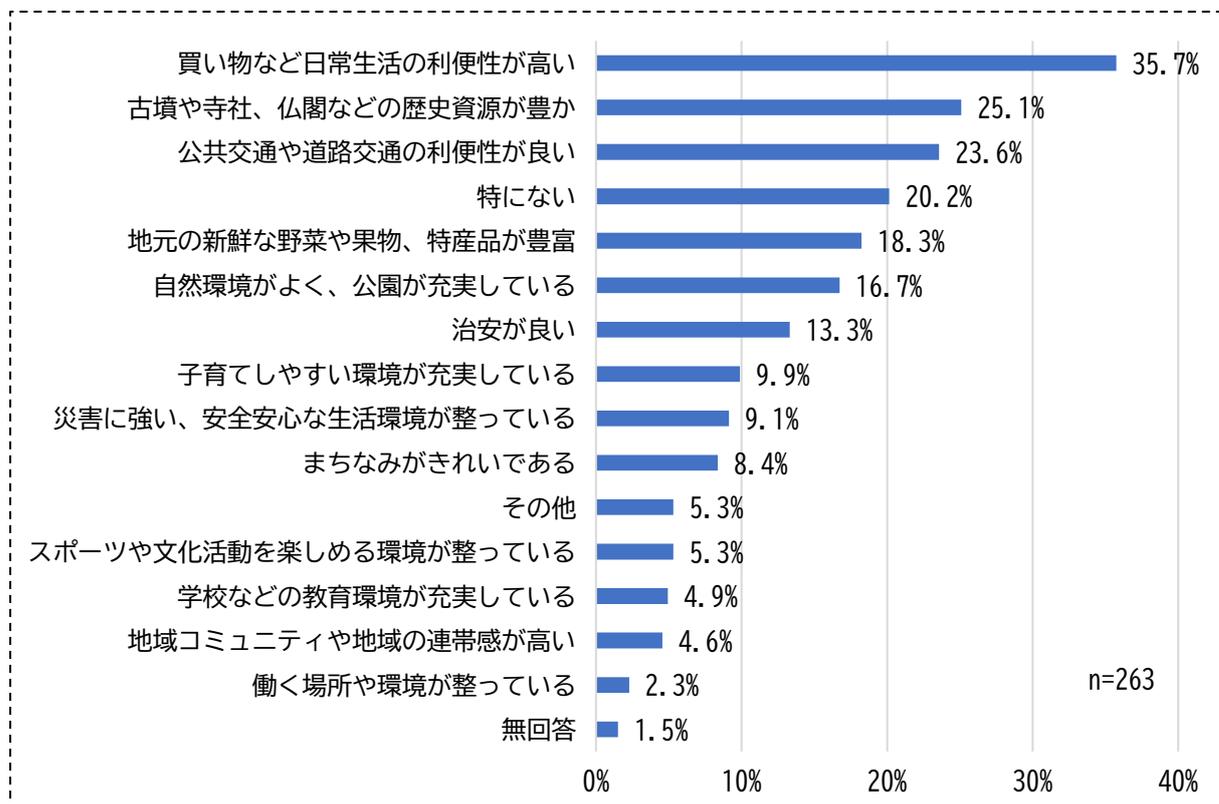
年代別で見ると、「住みよい」の割合は50歳代(40.6%)で最も大きく、「住みにくい」は「10・20歳代」(7.1%)、「どちらかといえば住みにくい」は「40歳代」(17.6%)と「10・20歳代」(17.1%)で大きくなっています。



平成27年転入者アンケートでの「羽曳野市に住んで満足しているか」との問いでは、「どちらかといえば満足」(56.7%)が最も大きく、次いで「満足」(19.6%)となっていました。今回のアンケート調査では、前回に比べると「住みよい」の割合が増加し、「どちらかといえば住みよい」を合わせた割合も80%を超え、前回より4.3%増加しています。

問 14 羽曳野市で生活していて良いことを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

「買い物など日常生活の利便性が高い」(35.7%)、「古墳や寺社、仏閣などの歴史資源が豊か」(25.1%)、「公共交通や道路交通の利便性が高い」(23.6%)、「地元の新鮮な野菜や果物、特産品が豊富」(18.3%)、「自然環境がよく、公園が充実している」(16.7%)、「治安が良い」(13.3%)が多くなっています。

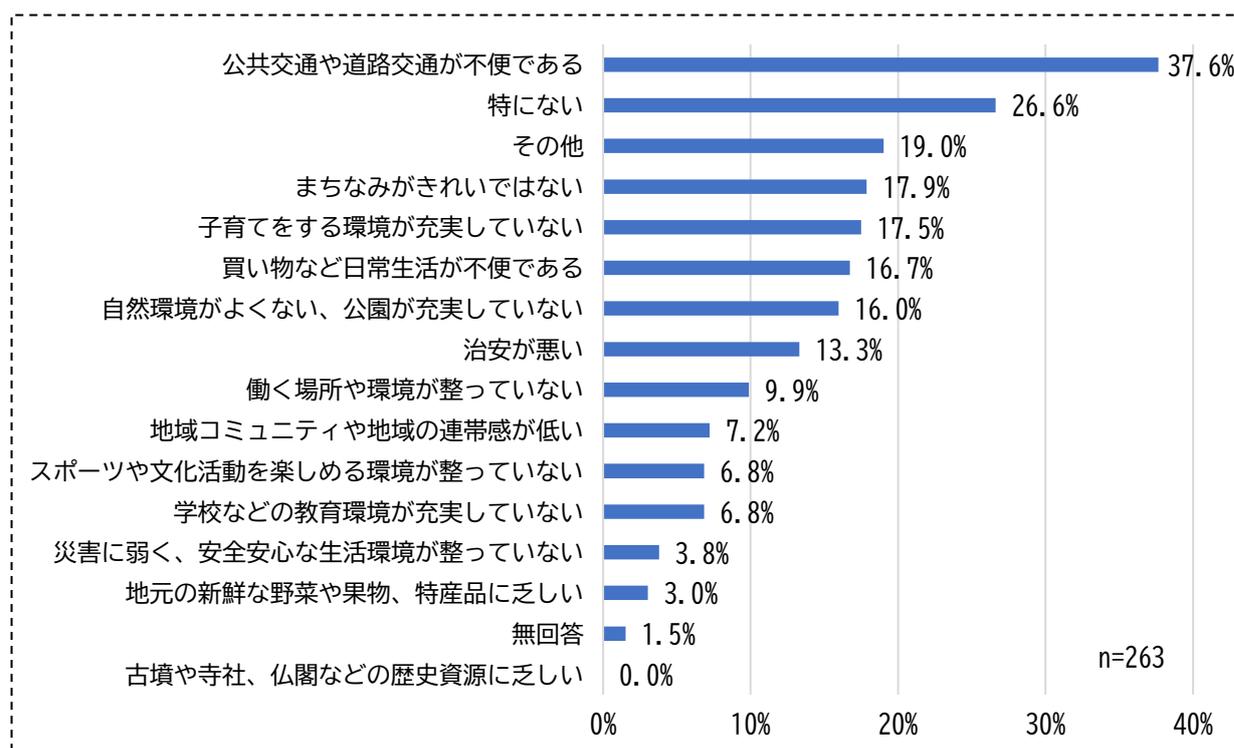


■その他の具体的な内容(主なもの)

- 福祉面が近隣自治体より充実している。
- 都心と違い家が広いのでゆったりできる。
- 家の前で子どもが遊べる。

問 15 羽曳野市で生活していて不満なことを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

「公共交通や道路交通が不便である」(37.6%)、「まちなみがきれいではない」(17.9%)、「子育てをする環境が充実していない」(17.5%)、「買い物など日常生活が不便である」(16.7%)、「自然環境がよくない、公園が充実していない」(16.0%)、「治安が悪い」(13.3%)が多くなっています。また、「古墳や寺社、仏閣などの歴史資源に乏しい」は0となっています。

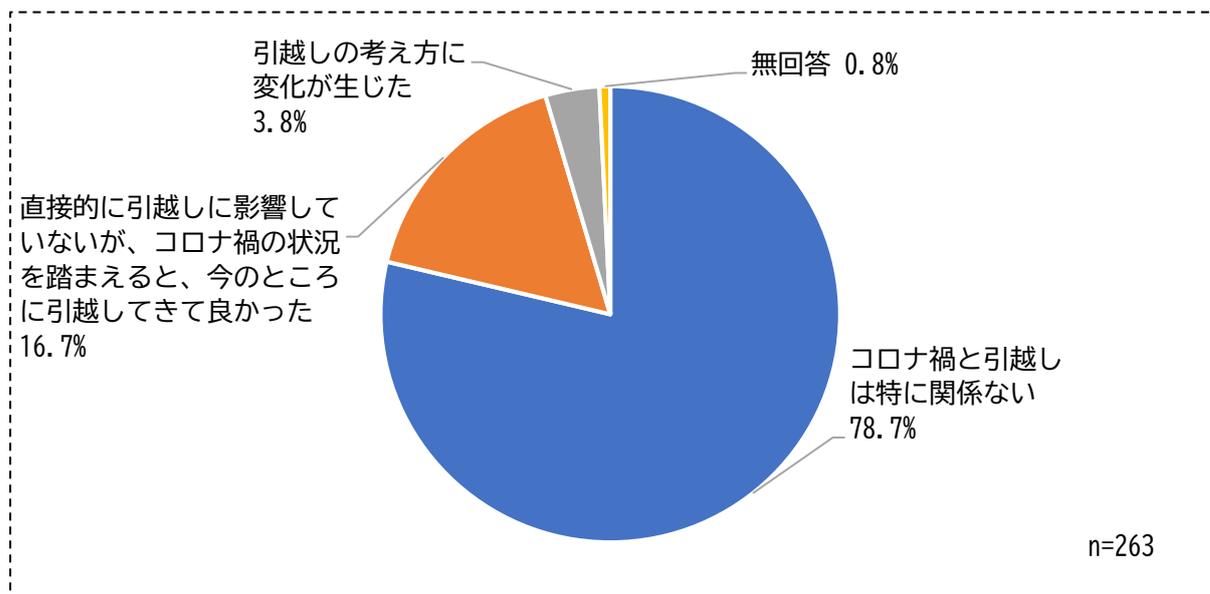


■その他の具体的な内容(主なもの)

- 公園がきれいに整備されていない。道が狭く歩道と車道が整備されていない。
- 坂道が多いが交通手段がない。
- 道路がでこぼこ、側溝が開いたままになっている。
- 防犯灯が少ない、暗い。粗大ごみの月が分かれていて不便である。
- 可燃ごみ以外のごみ回収の頻度が低い。大型ごみが捨てにくい。
- 幼稚園が少なすぎる(最寄駅にもほとんど無い)。障害者福祉が充実していない。

問 16 コロナ禍によって、あなたの引越しの考え方にどのような影響があるか教えてください。(1つに〇)

「コロナ禍と引越しは特に関係ない」(78.7%)が多数となっていますが、「直接的に引越しに影響していないが、コロナ禍の状況を踏まえると、今のところに引越してきて良かった」(16.7%)と羽曳野市に引越して良かったという意見も見られています。



■その他の具体的な内容(主なもの)

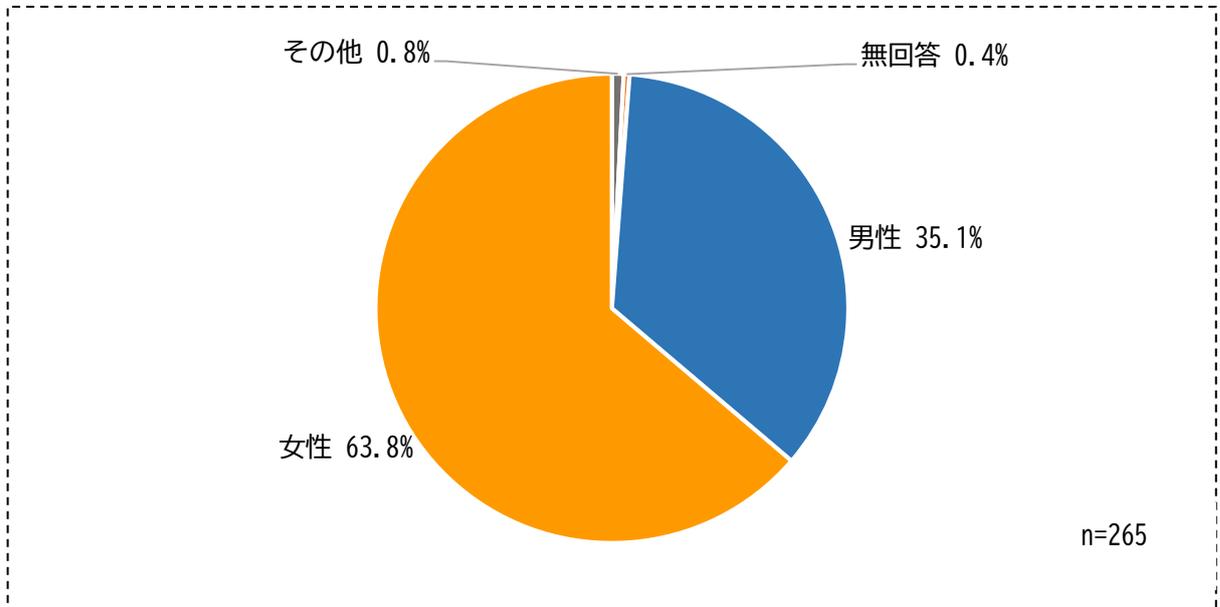
- テレワーク可能な職場であり、土地代が大阪市より安かったので戸建建設を決めた。
- リモートワークになり住む場所が自由になった。東京のクライアントを抱えたまま自宅リモートワークしている。
- 都会のマンション派から広めの郊外一軒家にシフトした。
- 人口が密集し過ぎず、程よく市内へも遠くないため、暮らしていくには魅力的な市だと考えているから。
- 引越し予定が先にあり、その後コロナが流行したため、引越しにコロナは無関係。

3 転出者アンケート調査の結果

3-1 回答者の属性について

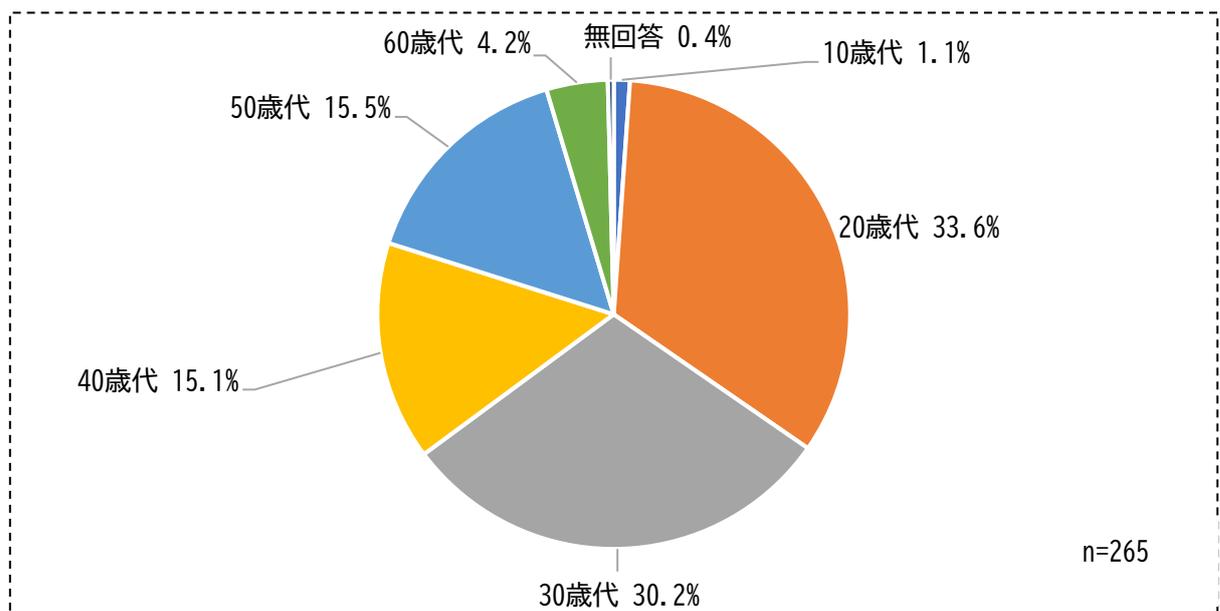
問1 あなたの性別を教えてください。(1つに○)

女性が6割以上で多くなっています。



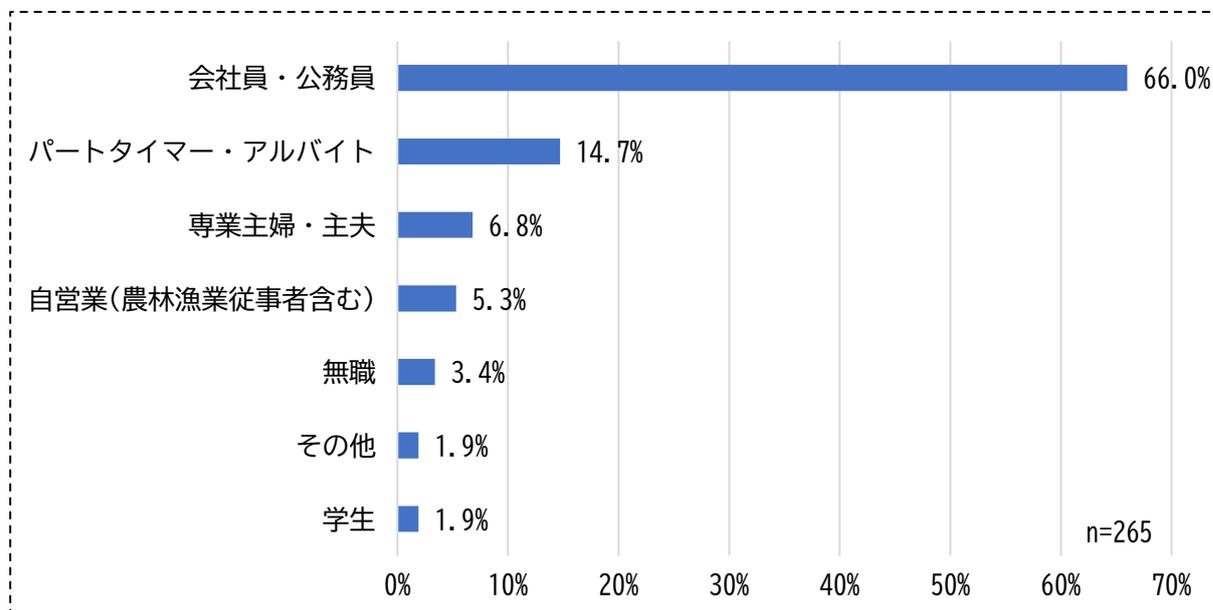
問2 あなたの年齢を教えてください。(1つに○)

「20歳代」(33.6%)が最も多く、次いで「30歳代」(30.2%)、「50歳代」(15.5%)、「40歳代」(15.1%)と若い世代の回答が得られています。



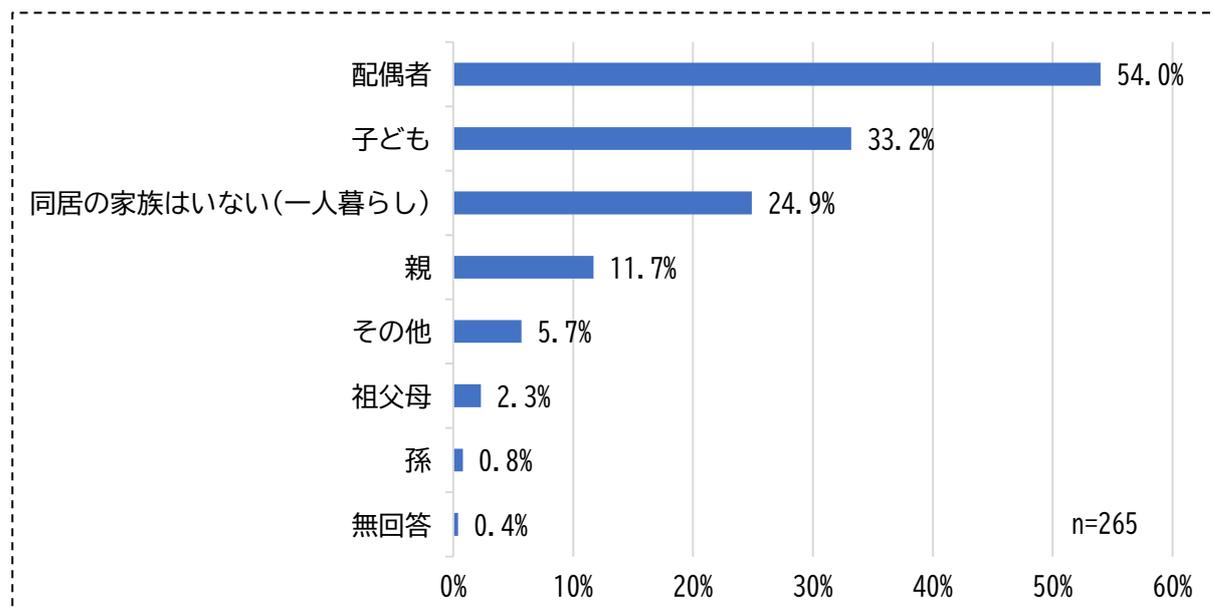
問3 あなたの職業を教えてください。(1つに○)

「会社員・公務員」(66.0%)が6割以上で多数を占め、次いで「パートタイマー・アルバイト」(14.7%)が多くなっています。



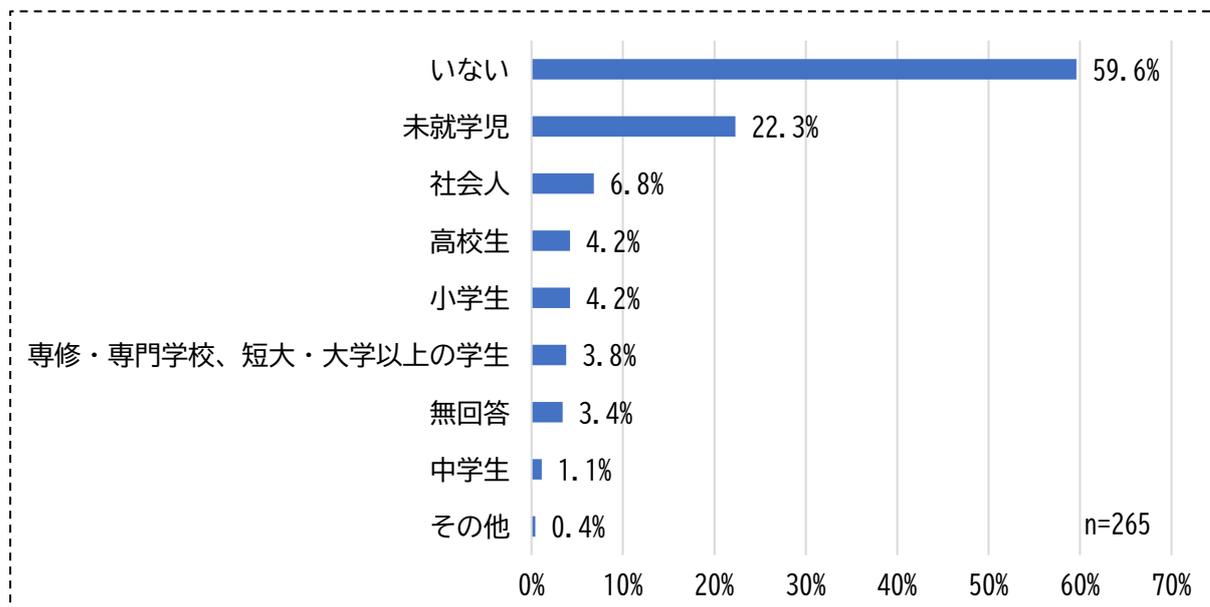
問4 あなたと同居している家族の方を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

「配偶者」(54.0%)、「子ども」(33.2%)が多く、次いで「同居の家族はいない(一人暮らし)」(24.9%)、「親」(11.7%)が多くなっています。



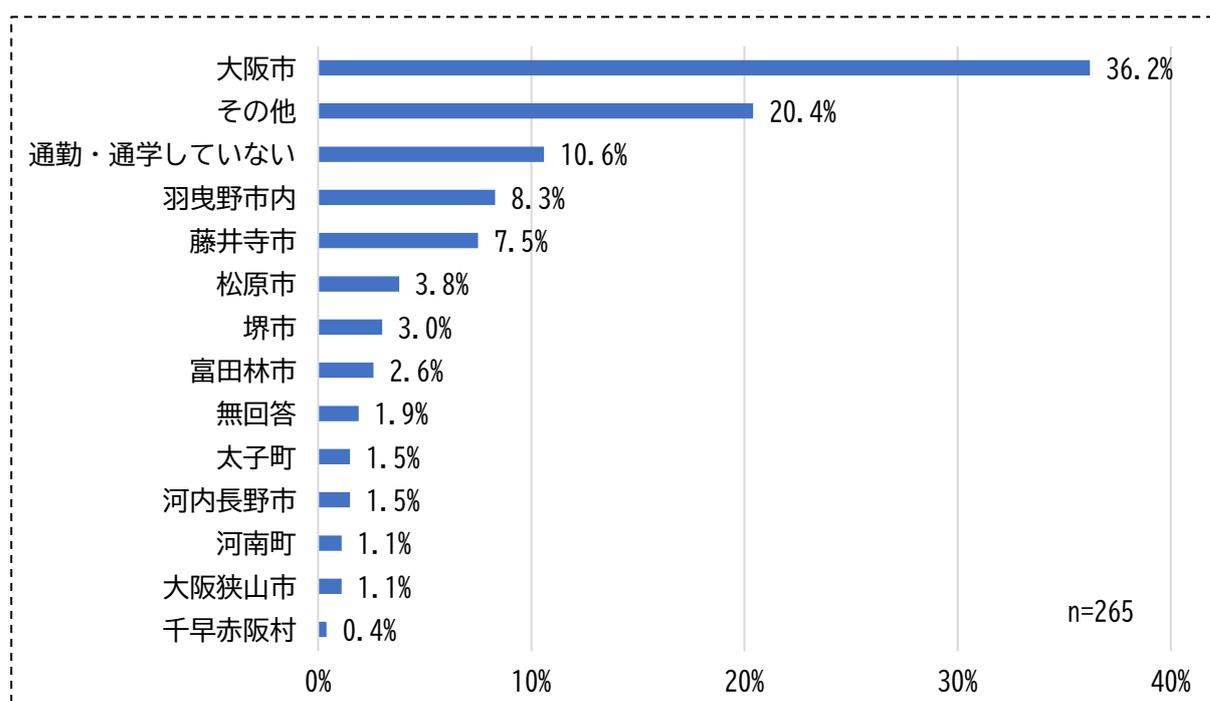
問5 あなたと同居しているお子さんに次の方はいますか。(あてはまるものすべてに○)

「いない」(59.6%)が最も多く6割近くを占め、次いで「未就学児」(22.3%)が多くなっています。



問6 あなたの通勤・通学先を教えてください。(1つに○)

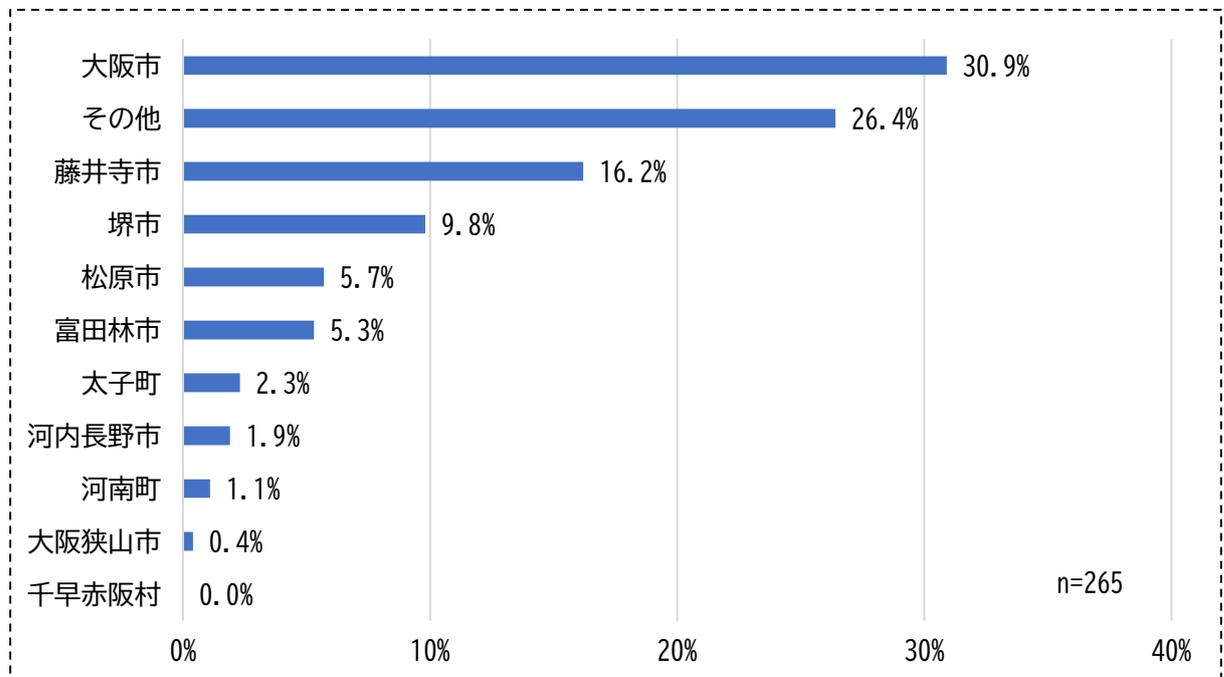
「大阪市」(36.2%)が最も多く、次いで「通勤・通学していない」(10.6%)、「羽曳野市内」(8.3%)、「藤井寺市」(7.5%)が多くなっています。



3-2 回答者の居住の状況について

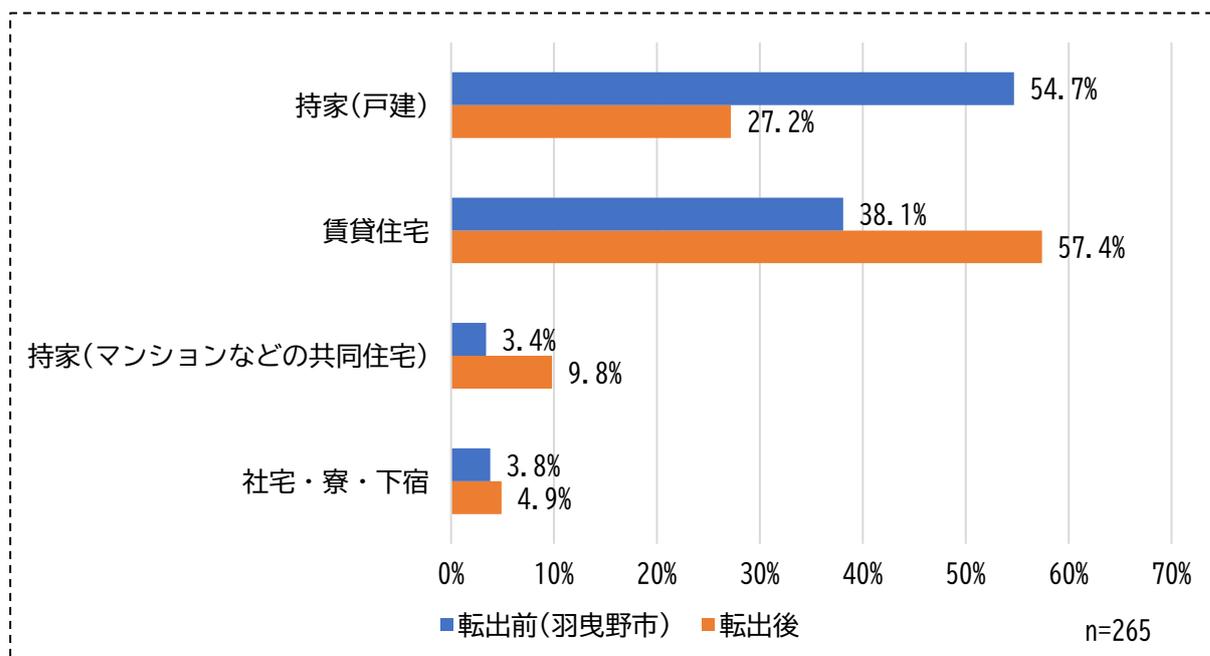
問7 羽曳野市から引越した後の市町村を教えてください。(1つに○)

「大阪市」(30.9%)が最も多く、次いで「その他」(26.4%)、「藤井寺市」(16.2%)、「堺市」(9.8%)が多くなっています。

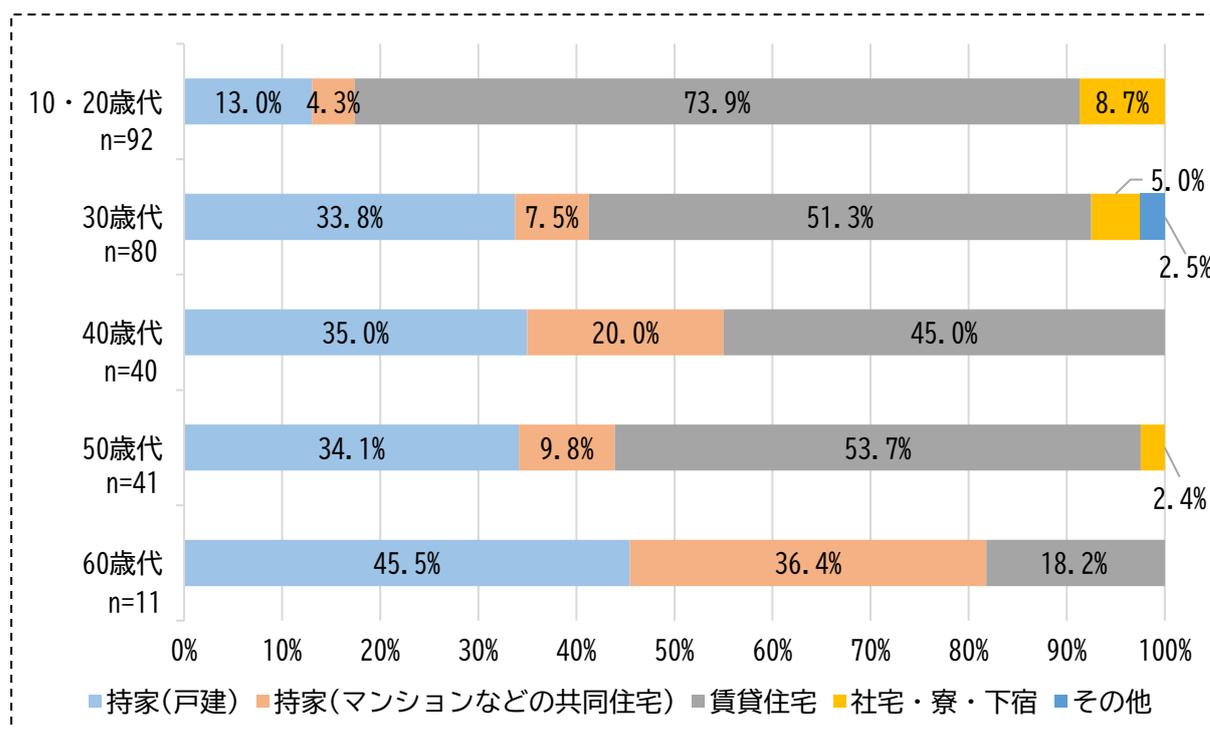


問8 引越す前(羽曳野市)と引越した後(転出先)の住宅を教えてください。
 なお、「持家」には家族が所有するものを含みます。(それぞれ1つに○)

転出先では「賃貸住宅」(57.4%)、「持家(戸建)」(27.2%)が多くなっています。転出前ではそれぞれ38.1%、54.7%となっていることから、転出後に「持家(戸建)」から「賃貸住宅」へ移り住む人が多いことが分かります。



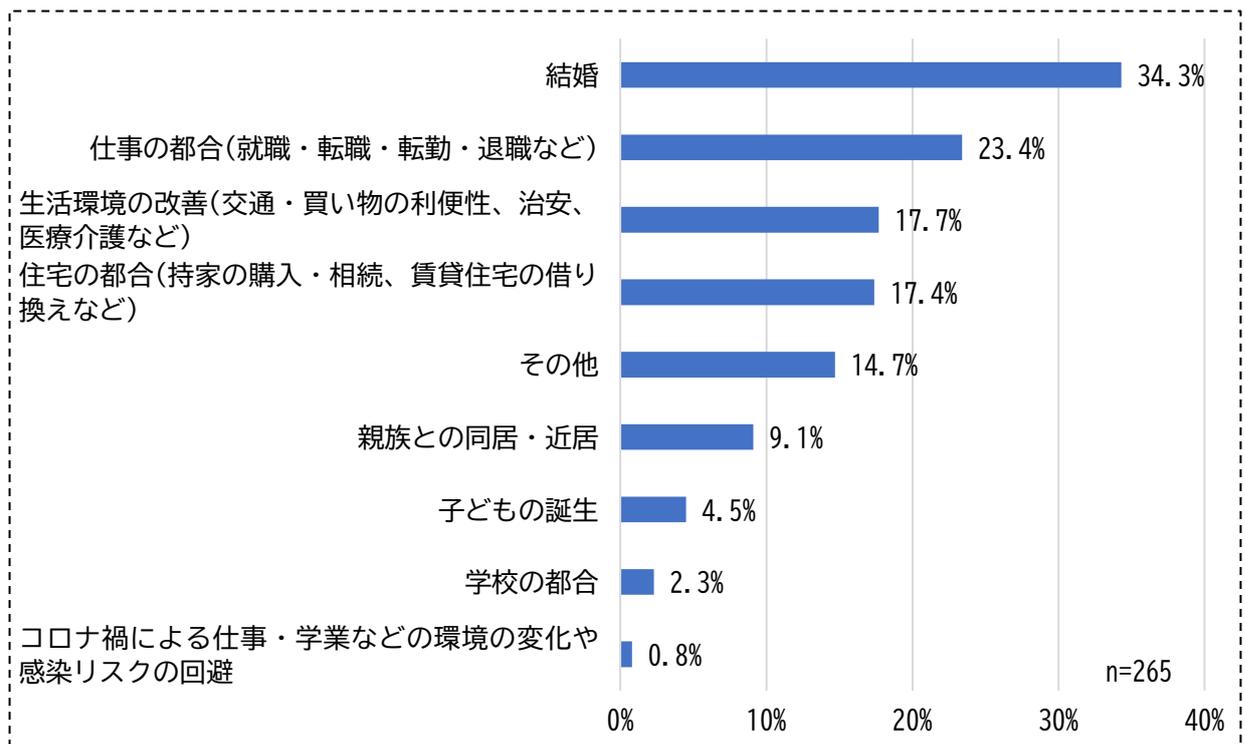
年代別で見ると、転出先の住宅では、「10・20歳代」(73.9%)、「30歳代」(51.3%)、「40歳代」(45.0%)、「50歳代」(53.7%)で「賃貸住宅」の比率が大きくなっています。



3-3 回答者の転出の理由等について

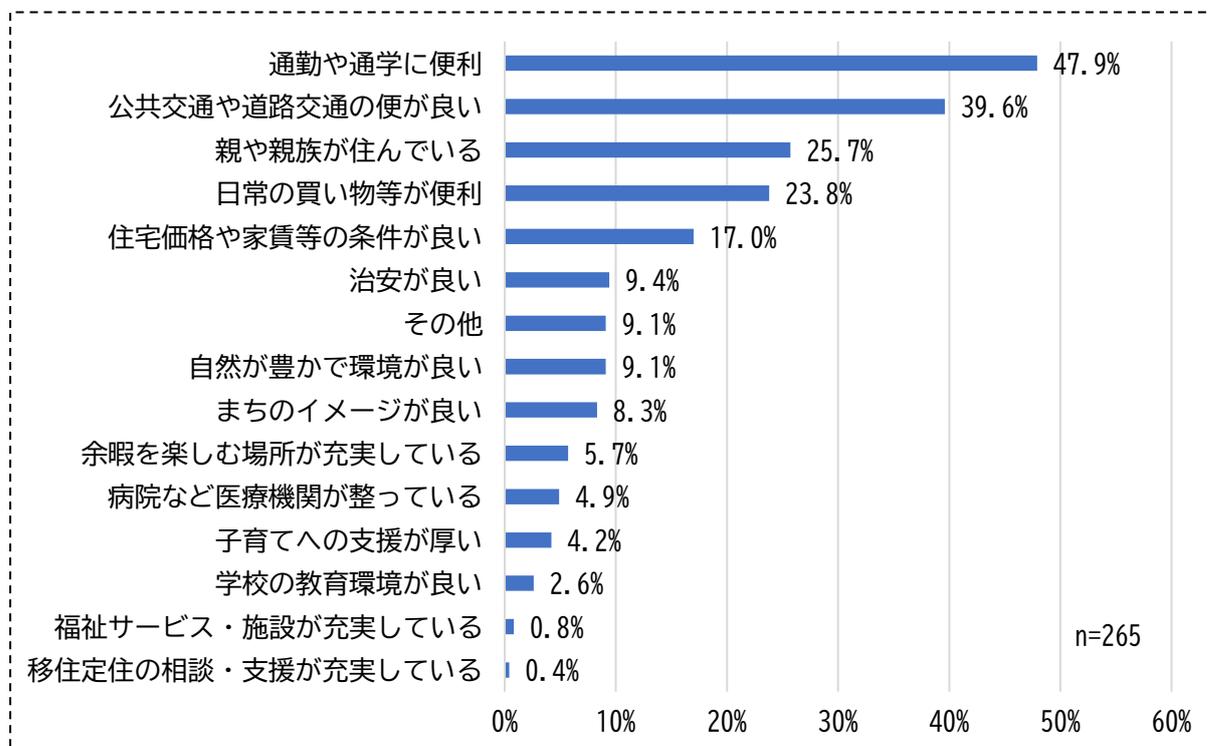
問9 あなたが羽曳野市から引越すこととなったきっかけを教えてください。
(あてはまるものすべてに○)

「結婚」(34.3%)が最も多く、次いで「仕事の都合(就職・転職・転勤・退職など)」(23.4%)、「生活環境の改善(交通・買い物の利便性、治安、医療介護など)」(17.7%)、「住宅の都合(持家の購入・相続、賃貸住宅の借り換えなど)」(17.4%)が多くなっています。



問 10 あなたが引越し先の市町村を決めた主な理由を教えてください。(3つまで○)

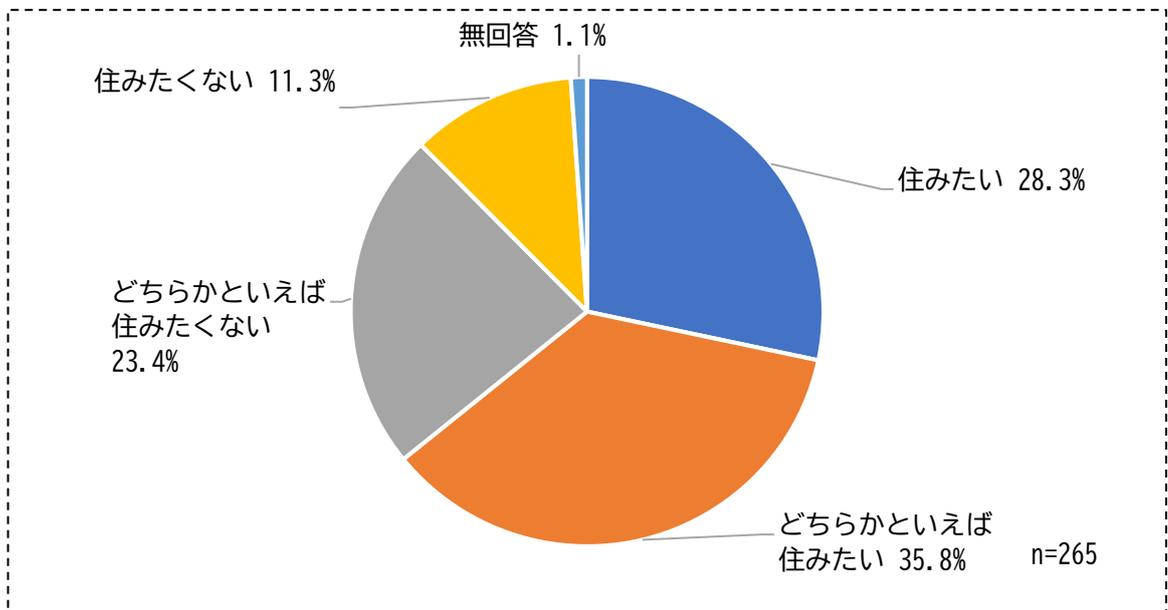
「通勤や通学に便利」(47.9%)が最も多く、次いで「公共交通や道路交通の便が良い」(39.6%)、「親や親族が住んでいる」(25.7%)、「日常の買い物等が便利」(23.8%)、「住宅価格や家賃等の条件が良い」(17.0%)が多くなっています。



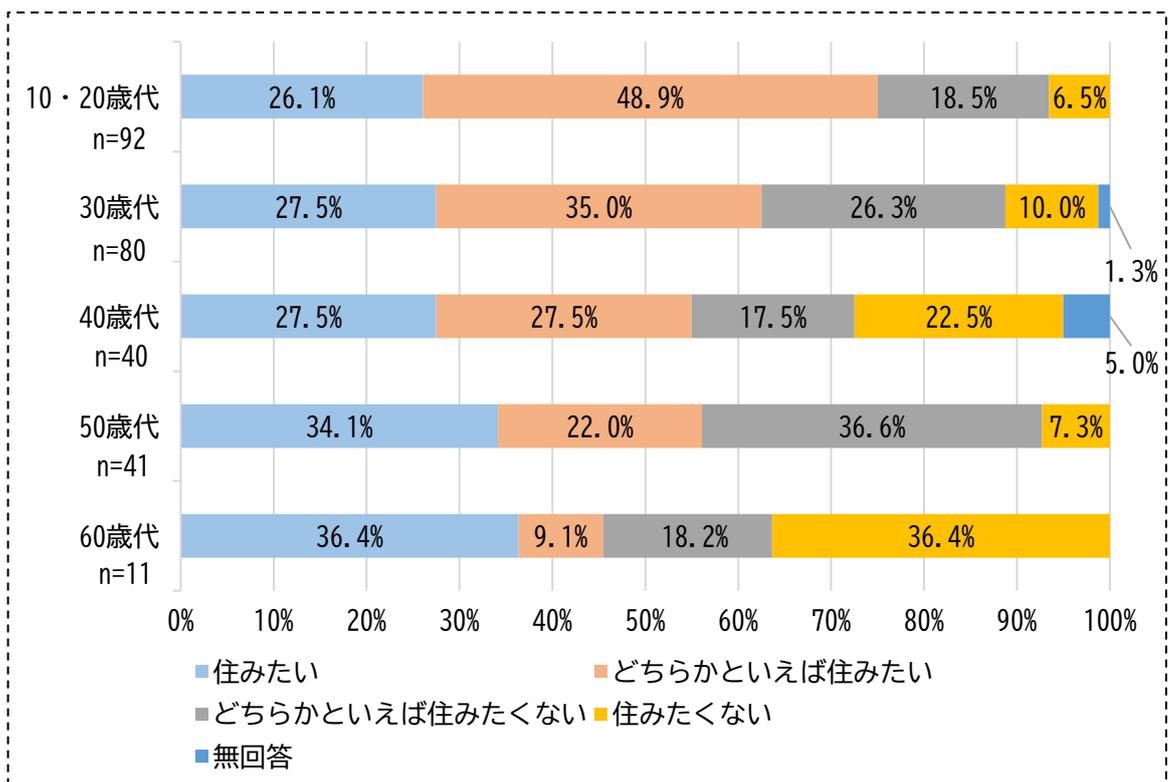
3-4 回答者の住み心地等について

問11 もし機会があれば、羽曳野市にもう一度住みたいと思いますか。(1つに○)

「住みたい」(28.3%)、「どちらかといえば住みたい」(35.8%)を合わせると6割以上となっています。

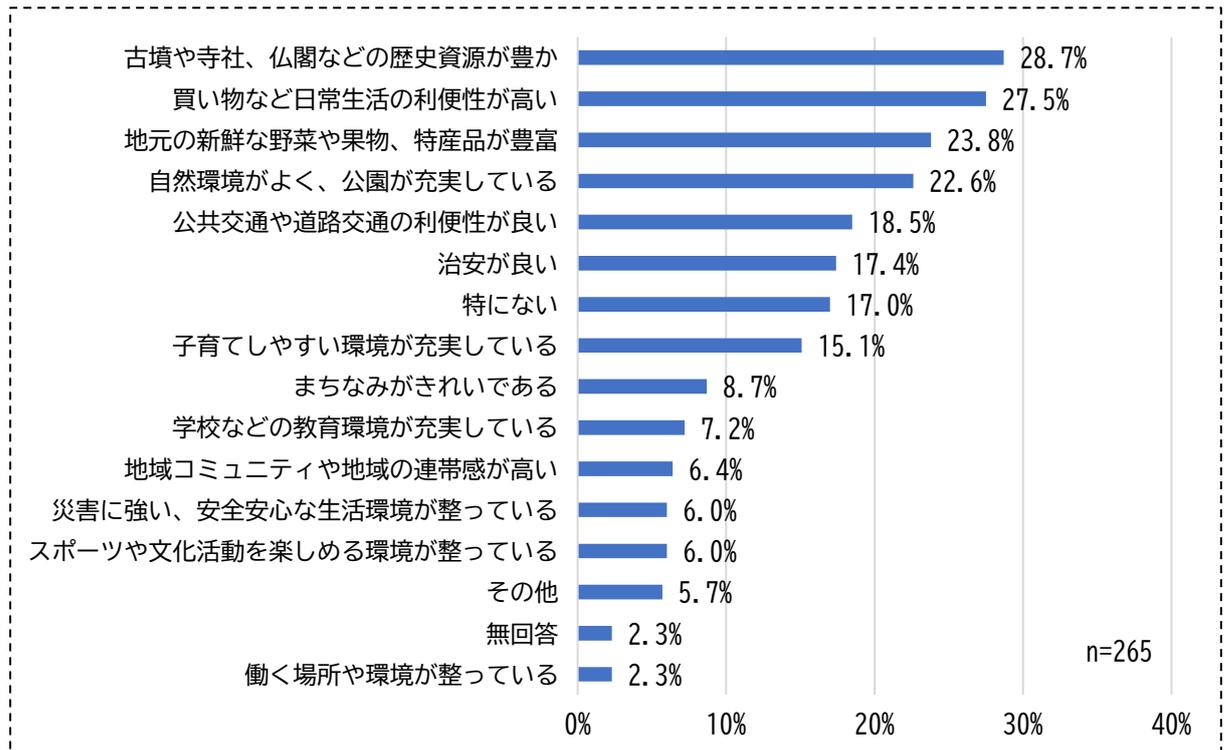


年代別で見ると、「住みたい」「どちらかといえば住みたい」を合わせた割合は「10・20歳代」で最も大きく、「60歳代」が最も小さくなっています。一方「住みたくない」「どちらかといえば住みたくない」の割合は「60歳代」で最も大きくなっています。



問 12 羽曳野市で生活していて良かったことを教えてください。
 (あてはまるものすべてに○)

「古墳や寺社、仏閣などの歴史資源が豊か」(28.7%)、「買い物など日常生活の利便性が高い」(27.5%)、「地元の新鮮な野菜や果物、特産品が豊富」(23.8%)、「自然環境がよく、公園が充実している」(22.6%)、「公共交通や道路交通の利便性が良い」(18.5%)、「治安が良い」(17.4%)、「子育てしやすい環境が充実している」(15.1%)が多くなっています。

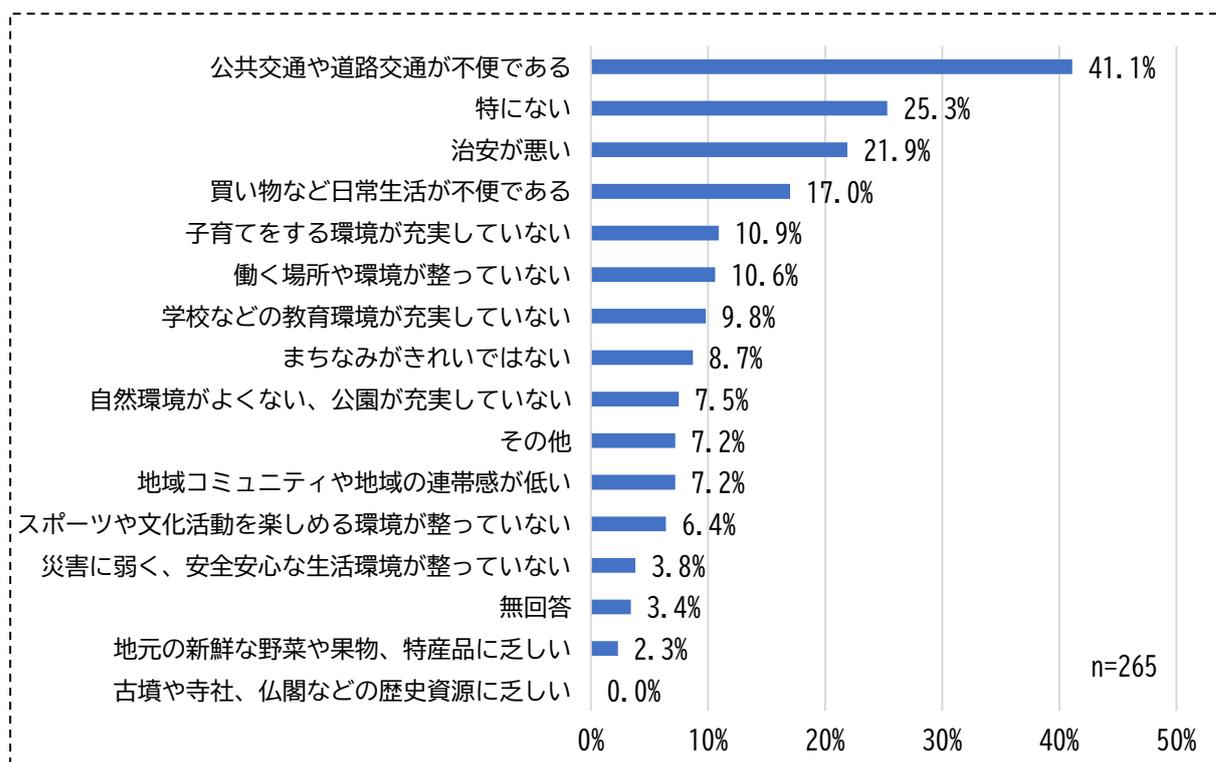


■その他の具体的な内容(主なもの)

- 静かである。
- ちょうどよい田舎感。
- 他市に比べて補助等が充実していたように感じる。

問 13 羽曳野市で生活していて不満だったことを教えてください。
(あてはまるものすべてに○)

「公共交通や道路交通が不便である」(41.1%)、「治安が悪い」(21.9%)、「買い物など日常生活が不便である」(17.0%)、「子育てをする環境が充実していない」(10.9%)、「働く場所や環境が整っていない」(10.6%)が多くなっています。また、「古墳や寺社、仏閣などの歴史資源に乏しい」は0となっています。

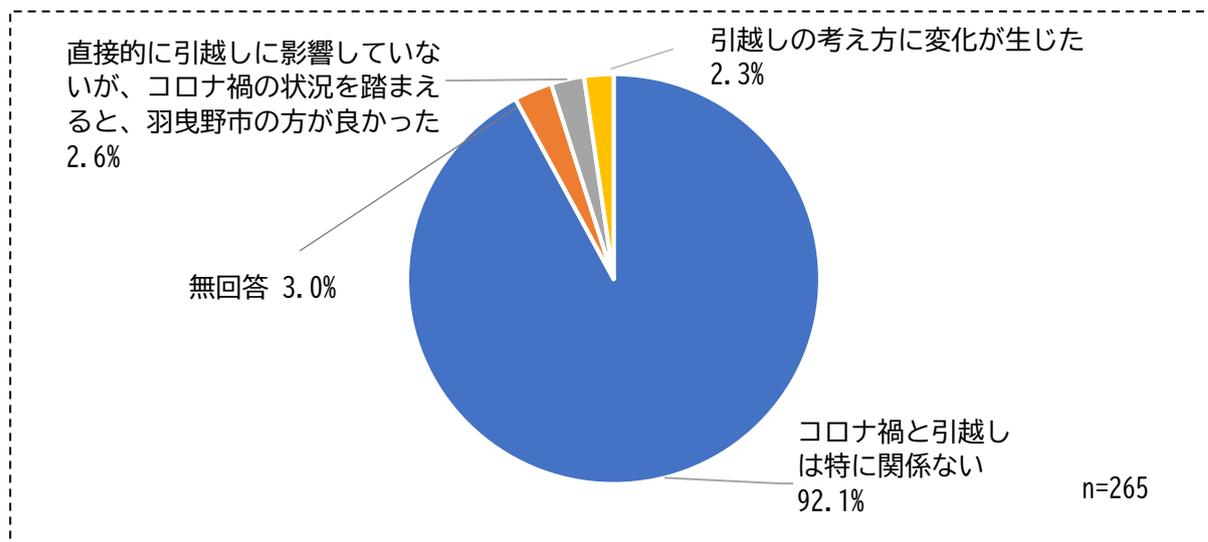


■その他の具体的な内容(主なもの)

- 場所によってはバスが通っていないくて不便(南古市小校区あたりなど)。
- 公共施設などがある場所が偏りすぎていて(恵我之荘あたり)住んでいる所から遠かった。
もっと色々な場所に作るべきだと思う。
- 場所によっては夜道に怖さを感じる場所がある。
- 街灯が少なく感じた。

問 14 コロナ禍によって、あなたの引越しの考え方にどのような影響があるか教えてください。(1つに○)

「コロナ禍と引越しは特に関係ない」(92.1%)が大多数となっていますが、「直接的に引越しに影響していないが、コロナ禍の状況を踏まえると、羽曳野市の方が良かった」(2.6%)という意見も見られています。



■その他の具体的な内容(主なもの)

- 都会の市内(大阪市)よりも単純に人が少ないので密にならないから。
- リモートワークが増えて、実家ではワーキングスペースが確保できなかった。
- 都会は交通や買い物の利便性が良く、田舎は自然が多く空気が良い。それぞれ良い所、悪い所があると思う。コロナ感染はどこにいたって誰にだって起こり得るので、引越し等は関係ないです。普段便利な生まれ育った土地羽曳野市に帰ってくると安心します。ただコロナ禍になって電車の本数が大分と減ってしまい不便で仕方がないです。
- リモートワークできない仕事のため。